

創造・参加・実践
No.743

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成

編集責任者 尾崎 裕介

「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」

2024年4月25日開催

安全確立に向け 「心理的に安全な職場」をつくることを誓い合う

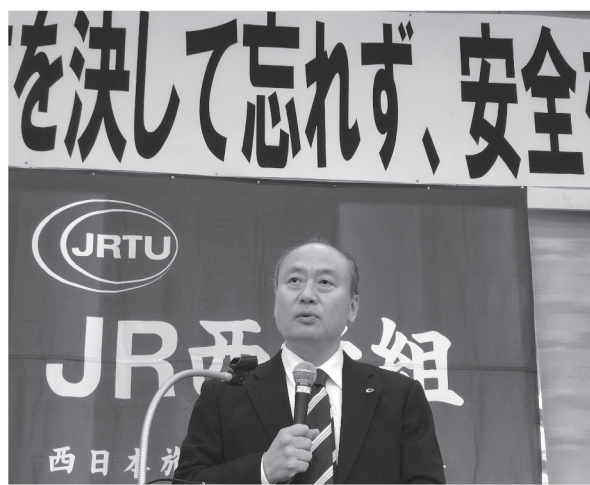
JR西労組は2024年4月25日(木)、TKPガーデンシティ大阪りばーサイドホテルにおいて、「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」を開催し、JR加盟単組およびJR西日本連合のグループ労組の代表者を含めた、約270名が集まり、安全を最優先にさらなる安全性の向上に向けた取り組みを進めていくことを誓い合った。

2005年4月25日に発生した福知山線列車事故から19年が経過した。JR西労組はこの間、事故に対する反省と教訓を胸に刻み、二度と悲劇を繰り返さない決意で、安全確立を最優先課題に位置付け、運動を展開してきた。

しかし、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の初年度である、2023年8月にグループ会社の作業員が感電による死亡労災事故、12月5日に協力会社の停止手配員が触車する死亡労災事故が立て続けに発生し、2名の仲間の尊い命を失ってしまった。更に直近では、3月に待避不良、4月に感電労

災が発生しており、引き続き、「あたりまえ」の心を、バカにせず、ちゃんとやる(ABC運動)を浸透させ、真の安全確立に向けた取り組みを徹底しなければならぬ。また、事故後に入社した組合員は、全体の7割を超えており、事故を経験していない組合員が年々増加する中で、風化防止を目的に事故を心に刻む取り組みの重要性が高まっている。

冒頭、出席者全員で黙祷を捧げ、主催者を代表して上村中央執行委員長が挨拶を行った。挨拶では、「追悼慰霊式」に出席し、「世界一安全な鉄道会社になること」を思い込める必要があること、安全確立に



主催者を代表して挨拶する上村中央執行委員長

上村中央執行委員長主催者代表挨拶(要旨)

2005年4月25日の福知山線列車事故から本日で19年が経過しました。

あらためて、事故で尊い命を失われた107名の御霊のご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われ、今なお苦しんでおられる皆様の、一日も早いご快癒を心よりお祈り申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、3年半という長期間に及んだコロナ禍においても、指定交通機関、エッセンシャルワーカーをお運びするキーマンとして、愚直に安全運行を守り続けていただいたことに感謝申し上げます。4月25日に改めて安全を誓う意義とともに確認したいと思っております。

能登半島地震で被災された方にお見舞い申し上げますとともに、復旧作業に尽力いただいたことにも感謝いたします。

「事故を決して忘れず、安全を誓う集い」は、事故翌年の2006年から毎年開催しています。4月25日というこの日に安全を誓うという意義を伝えてもらいたい。

本日の午前中、「福知山線列車事故追悼慰霊式」が祈りの柱にて、深い悲しみに包まれる中で、厳粛に開催され、JR西労組を代表して参列し、「世界一安全な鉄道を築きます」と誓って参りました。

昨年4月に労使の議論で策定した「鉄道安全考動計画2027」の初年度には、残念ながらJR職場で働く2名の仲間が命を落とす死亡労災事故が発生しました。誤認や、確認さえすれば防げたのではないかとということもあるが、「あたりまえの心を、バカにせず、ちゃんとやる」ABC運動の徹底をお願いしたい。自らの命、仲間の命を守ることがお客様の死傷事故ゼロにつながると確信しています。

また、新計画の柱として、権威勾配のない、「心理的安全性の高いチーム」が掲げられています。JR西労組が提起を行い、関係員の制服を同じ制服とするように順次導入していますが、これは、航空連合との意見交換の中で、整備工場の共通化でコミュニケーションが深まったという話を聞いて、先ず駅から制服の共通化を行い、仲間意識の醸成を図ることで、安全につなげていきたいと考えています。

事故当時を知っている方がまだ大勢いらっしゃると思います。2005年当時を知っている方が、思いや経験したことを自分の言葉で後輩に語っていただきたいと思っております。これは、事故当時を知っている私たちの責務であるとも考えており、語り継ぐことで事故を決して忘れないことにつながると確信しています。

私たちJR西労組の強みは全ての職場に組合員・役員がいることです。現場起点の取り組みと検証が安全確立のカギを握っています。「安全お守り手帳」を活用した日常的な振り返りを行っていただき、「安全考動計画2027」の実現に向けて、安全性向上の取り組み強化を皆で誓い、挨拶とします。



航空連合長谷川事務局長による基調講演

の職場にJR西労組組合員がいることが、JR西労組の強みであり、安全お守り手帳を活用した日常的な振り返りを行い、安全性向上の

取組みを強化する」と述べた。そして、航空連合の長谷川事務局長から、「安全・安心への取り組みについて」と題して基調講演があり、航空連合での安全の取り組みや、JALグループでの安全文化の醸成に向けた安全管理サイクルの取り組みなどが詳しく紹介された。

また、2024年1月2日に発生した「羽田空港航空機衝突事故」への対応についても説明された。

安全文化の醸成には、現地に行き、現物を見て、現人(体験者)の話を聞くことで、初



26日には、「祈りの杜」への献花(写真上)ならびに、「塚本〜尼崎間触車事故現場慰霊碑」への献花(写真下)を行った

めて本質が理解できるという考え方が重要であり、常日頃から「2・5人稱の視点」で発想し、自然な行動として現れるよう「心の習慣」を身につけることが大切であることを学んだ。

続いて、中央本部、中央業務部長(安全担当)より「JR西労組の安全の取り組み」について説明する中村業務部長

「JR西労組の安全の取り組み」について説明する中村業務部長

「安全・安心への取り組みについて」と題して基調講演があり、航空連合での安全の取り組みや、JALグループでの安全文化の醸成に向けた安全管理サイクルの取り組みなどが詳しく紹介された。

また、2024年1月2日に発生した「羽田空港航空機衝突事故」への対応についても説明された。

安全文化の醸成には、現地に行き、現物を見て、現人(体験者)の話を聞くことで、初

また翌日の4月26日(金)、中央本部は「祈りの杜」福知山線列車事故現場ならびに「塚本〜尼崎間触車事故現場慰霊碑」への献花行動を行い、「二度と悲惨な事故を起こさない。そして安全確立に向け愚直に取り組みたい」と誓った。



270名が集まり、安全確立の決意を確認

また翌日の4月26日(金)、中央本部は「祈りの杜」福知山線列車事故現場ならびに「塚本〜尼崎間触車事故現場慰霊碑」への献花行動を行い、「二度と悲惨な事故を起こさない。そして安全確立に向け愚直に取り組みたい」と誓った。

また翌日の4月26日(金)、中央本部は「祈りの杜」福知山線列車事故現場ならびに「塚本〜尼崎間触車事故現場慰霊碑」への献花行動を行い、「二度と悲惨な事故を起こさない。そして安全確立に向け愚直に取り組みたい」と誓った。